

聖書日課 『からし種』 2022.6.19-6.26

<p>6月19日 (日) I ペトロ 3章</p>	<p>「悪をもって悪に、侮辱をもって侮辱に報いてはなりません。かえって祝福を祈りなさい。祝福を受け継ぐためにあなたがたは召されたのです」(9節)、「心の中でキリストを主とあがめなさい」(15節)。今日わたしの口から出る言葉が心の中に生きて働いてくださるキリストに基づいた言葉となるように。主日礼拝から始まる一週間の日々、主の祝福を語る者とされて</p>
<p>20日 (月) I ペトロ 4章</p>	<p>「あなたがたはそれぞれ、賜物を授かっているのですから、神のさまざまな恵みの善い管理者として、その賜物を生かして互いに仕えなさい」(10節)。「それぞれの賜物」。わたしへの賜物、あの人への賜物。自分で気づいていない賜物もあることだろう。互いの賜物を「見つけ合う」ことが、賜物を「生かして互いに仕える」ことになるのではないだろうか。</p>
<p>21日 (火) I ペトロ 5章</p>	<p>「神の力強い御手の下で自分を低くしなさい。そうすれば、かの時には高めていただけます。思い煩いは、何もかも神にお任せしなさい。神が、あなたがたのことを心にかけてくださるからです」(6-7節)。神の前に低くされないと「祈る」ことはできない。「思い煩い」を神に委ねることもほんとうに難しい。聖霊が、今日、その難しい祈りを導いてくださるように。</p>
<p>22日 (水) II ペトロ 1章</p>	<p>「夜が明け、明けの明星があなたがたの心の中に昇るときまで、暗い所に輝くともし火として、どうかこの預言の言葉に留意してください」(19節)。「イエスの再臨など起こらないじゃないか?」、「いや、明けの明星が昇るときが必ず来る!」。初代教会の人びとの信仰の闘いがここにあった。たとえ世界の暗さが続いても「主のともし火」を見失うことがないように。</p>

メール配信登録メール [senfkorn.obc@gmail.com](mailto:senfkorn.obc@gmail.com)

大井バプテスト教会

メール配信希望の方は名前とアドレスを明記の上、上記のアドレスまで

聖書日課 『からし種』 2022.6.19-6.26

<p>23日 (木)</p> <p>Ⅱ ペトロ 2章</p>	<p>「バラムは不義のもうけを好み…過ちに対するとがめを受けました。ものを言えないろばが人間の声で話して、この預言者の常軌を逸した行いをやめさせたのです」(16節)。バラム物語(民数記 22 章)は主の御心を尋ね求める難しさを教えている。私たちはしばしば自己の願望を神の御心に重ねて取り違える。その私たちにロバを送り「正して」下さる主を覚えて。</p>
<p>24日 (金)</p> <p>Ⅱ ペトロ 3章</p>	<p>「主は約束の実現を遅らせておられるのではありません。そうではなく、一人も滅びないで皆が悔い改めるようにと、あなたがたのために忍耐しておられるのです」(9節)。「主の約束」は「義の宿る新しい天と新しい地」の到来(13 節)。主イエスの愛と正しさがすべてを貫く世界。わたしはその主の約束の到来に向けてしっかり「矢印」を合わせているだろうか。</p>
<p>25日 (土)</p> <p>Ⅰ ヨハネ 1章</p>	<p>「この命は現れました。御父と共にあったが、わたしたちに現れたこの永遠の命を、わたしたちは見て、あなたがたに証しし、伝えるのです」(2節)。イエス・キリストは「命の言(ことば)」であり「永遠の命」。金や銀はいつかは朽ちるが、イエス・キリストは決して朽ちることがない。「朽ちない命」に飲み込まれるくらいに今日、主の恵みを身近に覚えることができるように。</p>
<p>26日 (日)</p> <p>Ⅰ ヨハネ 2章</p>	<p>「愛する者たち、わたしがあなたがたに書いているのは、新しい掟ではなく、あなたがたが初めから受けていた古い掟です。この古い掟とは、あなたがたが既に聞いたことのある言葉です」(7節)。主イエスが伝えた神の愛は、旧約の時代から変わらないもの。旧約聖書と新約聖書を貫いて流れているものに希望をいただきたい。</p>